

ガバナー挨拶



2010-11 年度
第 2750 地区ガバナー
辰野 克彦

2010年7月より一年間、国際ロータリー第2750地区91クラブと国際ロータリーの間に立ち、クラブがロータリー活動を効果的に出来るよう支援するお役目を皆様と一緒に担うことになりました。

手続要覧に地区の役割は、クラブが奉仕活動を行う上で、適切な支援を行うことを唯一の目的とする、とあります。

私は、地区運営の方針として

①クラブ中心、地区はその支援

②地区の簡素化

を掲げ、一年間運営に当たりたいと思いますので、皆様も同じ思いで、役割を全うして頂きたいと、お願いいたします。

地区チーム研修セミナーの目的は

ガバナー補佐および地区委員長、委員の就任に備える、ガバナー・エレクトが地区指導者チームを作り上げ、チームがクラブを支援する意欲を高めることとあります。

ガバナー補佐の皆様には、既に4回のガバナー補佐研修を重ねておきまして、今日は主に委員会委員長・委員の皆様に対し、年間基本方針等を確認する場にしたいと思っております。

私は、1月18日から1週間サンディエゴに参り、ガバナー研修を受けてまいりました。

18日の開会式におきまして、レイ・クリンギンスミスRI会長エレクトが、年度テーマを発表されました。「地域を育み、大陸をつなぐ」「Building Communities Bridging Continents」ということです。

会長エレクトのご説明は、今までのテーマは Celebrate Rotary、Enjoy Rotaryなどロータリアンに向かって言うものが殆どでした。

それを外に向かって言うもの、それを聞けばロータリーが何たるか、判るようなものにしようということで、このテーマに決められたということです。国際ロータリーは3年ごとに長期計画を見直ししておりますが、2010年はその年にあたりますので、昨年11月の国際ロータリーの理事会で検討されました。

今年6月までに、まだ検討を加えられるようですが、向こう3年間はその方向で世界のロータリーが進むことになります。また、規定審議会が3年に一度開かれますが、本年4月に規則の変更の協議決定が行われ、7月より実施されます。という二つの意味で例年と違い、国際ロータリーの方向性の変化を理解しなければならない年と思います。

クラブが活発に活動するには、地区は何をすべきかを常に念頭におき「考え」「行動」してまいりたいと考えております。

プロフィール

■学歴

1964年 3月 東京大学法学部卒業

■職歴

1964年 4月 辰野株式会社 入社

1991年12月 辰野株式会社
代表取締役社長に就任
現在に至る

■ロータリー歴

1982年11月 東京西ロータリー・クラブ入会

1991-1992年 国際ロータリー第2750地区副幹事

1995-1996年 東京西ロータリー・クラブ副会長

1999-2000年 同プログラム委員長

2001-2002年 同クラブ会長

2003-2005年 同創立50周年特別委員長

2006-2007年 国際ロータリー第2750地区

山の手東グループ ガバナー補佐

ポール・ハリス・フェロー(マルチプル)、ベネファクター、米山功労者(マルチプル)

地区重点目標

I. RIテーマとRI会長強調事項の推進

RIテーマ:「地域を育み、大陸をつなぐ」

Building Communities Bridging Continents

RI会長強調事項:①ポリオ撲滅

②青少年プログラム

③人道的プログラム

・平和と紛争予防/紛争解決

・疾病予防と治療

・水と衛生設備

・母子の健康

・基本的教育と識字率の向上

・経済と地域社会の発展

II. 地区運営基本方針と地区強調事項

地区運営方針:①クラブ中心、地区はクラブの支援

②地区組織の簡素化

地区強調事項:①クラブにおける長期計画の立案と推進

②「クラブ合同奉仕プロジェクト」の支援

III. 会員基盤の強化

会員維持増強 各クラブ1名以上の純増

クラブ拡大 地区として1クラブ以上の拡大

IV. ロータリー財団への支援

年次寄付 1人 100ドル以上

ポリオ・プラス指定寄付 1クラブ 1,000ドル以上

ベネファクター(恒久基金への寄付が1,000ドルに達する者)

会員100名以上のクラブ 2名以上

会員 99名以下のクラブ 1名以上

大口寄付者(ロータリー財団への寄付累計が10,000ドルに達する者)

地区で5名以上

V. (財)ロータリー米山記念奨学会への支援

地区として、特別寄付と普通寄付を併せて8,000万円以上